

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		中国雲南省元陽県の棚田における持続的農業と循環型社会の構築に関する学際的研究			
研究テーマ (欧文) AZ		(なし)			
研究氏 代 表 名 者	カカナ CC	姓)ミヤザキ	名)タケシ	研究期間 B	2005 ~ 2007 年
	漢字 CB	宮崎	猛	報告年度 YR	2007 年
	ローマ字 CZ	Miyazaki	Takeshi	研究機関名	京都府立大学大学院
研究代表者 CD 所属機関・職名		京都府立大学大学院農学研究科教授			
概要 EA (600字~800字程度にまとめてください。)					
<p>中国雲南省元陽県には、世界遺産に申請中の世界最大級の棚田がある。少数民族の哈尼族が耕作する棚田農村では、森林(聖山・聖樹)・棚田(稲魂)保全の伝統文化による有機物と水・蒸気・降雨との循環システムの保全活動、アジア・モンスーンの気候風土に基づく生物多様性を最大限に活用した棚田中心の農畜漁業の発展、自給自足に近い自然主義的稲作を中心に多様な生物相から少しずつ食料を地産地消する生活がみられ、近年の農畜漁業生産力の発展は高い人口の伸びをもたらしている。</p> <p>しかし、中国経済の高度経済成長は内陸部の山間僻地にある棚田農村でも、青壮年層の出稼ぎの急増と観光客の増加として影響を強めている。出稼ぎの増加は、物質的豊かさを求めた現金収入の拡大と引き換えに、棚田の粗放的管理や耕作放棄による棚田の崩壊を引き起こし、観光客の増加に対応した農家楽の振興は、農民間の貧富の格差拡大や観光公害等の新しい農村問題を引き起こしている。</p> <p>本研究では、元陽県新街鎮土戈寨村での農家調査やフィールド調査等に基づいて、次の3点を明らかにすることができた。第1に、里山や棚田を中心とする農畜漁業の集約度増進型生産力発展を示し、それを可能にした有機物と水・蒸気・降雨との循環システムや、森林・棚田・水系保全のシステムを明らかにした。第2に、農畜漁業に関する新技術の普及、都市へのお出稼ぎ、農家楽の導入等に取り組む農村の社会組織、すなわち、親子・キョウダイ関係の複数世帯による親族集団を単位として現金収入の拡大や新しい棚田農業に取り組んでいることを解明した。第3に、個人営と集落営の2タイプの農家楽を分析して、出稼ぎの抑制と貧富の格差是正のためには、箒口景区管理委員会による箒口哈尼民俗村のような集落営の農家楽が効果的であることを明らかにした。</p>					
キーワード FA	森林・棚田保全	自然主義的稲作	有機物と水の循環システム	個人営と集落営の農家楽	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>	中国における棚田農業の保全と農家楽							
	著者名 <sup>GA</sup>	森下裕之・宮崎 猛	雑誌名 <sup>GC</sup>	農林業問題研究					
	ページ <sup>GF</sup>	掲載予定	発行年 <sup>GE</sup>	2	0	0	8	巻号 <sup>GD</sup>	44巻1号
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>								
	著者名 <sup>GA</sup>		雑誌名 <sup>GC</sup>						
	ページ <sup>GF</sup>	～	発行年 <sup>GE</sup>					巻号 <sup>GD</sup>	
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>								
	著者名 <sup>GA</sup>		雑誌名 <sup>GC</sup>						
	ページ <sup>GF</sup>	～	発行年 <sup>GE</sup>					巻号 <sup>GD</sup>	
図書	著者名 <sup>HA</sup>	宮崎 猛（編著）							
	書名 <sup>HC</sup>	日本とアジアの農業・農村とグリーン・ツーリズム							
	出版者 <sup>HB</sup>	株昭和堂	発行年 <sup>HD</sup>	2	0	0	6	総ページ <sup>HE</sup>	195
図書	著者名 <sup>HA</sup>								
	書名 <sup>HC</sup>								
	出版者 <sup>HB</sup>		発行年 <sup>HD</sup>					総ページ <sup>HE</sup>	

#### 欧文概要 EZ

There is the worldwide biggest rice terrace farming in Yuanyang County, Yunnan Province, China. The agricultural practice is naturalism with animal husbandry and fishery for self-sufficiency.

Hani minority peoples operate terraced field with their special production and living habits that protect the environment with four elements of forest, village, terraced field, and irrigation system. The monsoon climate in Yuanyang County provides much rain and mist used for the rice terrace farming. Therefore, the rice terrace farming is the results of a deep understanding and control of nature by Hani peoples.

According as the rapid economic development of China, many young farmers go to get jobs in urbanizing areas, and several rich farmers start to manage restaurant for rural tourist in the villages. But the rice terrace farming becomes to be unsustainable from lack of young farmers, and the earning differential between farmer's restaurants and self-sufficient farmers is expanding now, because individual farmer's restaurants are earning a lot of money.

From the field survey in the Dokousai villages, the village management for Hani folk tourism like Jingkou village is effective to maintain sustainability of the rice terrace farming, and to abolish earning differential within farmers.